

評価規準(案)

【第一学年】

(評価規準:【A】十分満足できる,【B】おおむね満足できる)

時間	単元名	ページ	教材名 学習目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
適時		①・1	詩「ふしぎ」金子みすゞ よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。	【B】小学校で学習した姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを理解している。 字間・行間を理解して、行が曲がらないように書いている。 【A】姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを的確に捉えている。 字間・行間を理解して、行が曲がらないように字形を整えて書いている。	【B】小学校で学習した内容を確認している。 【A】小学校で学習した内容を確認し、自己の課題を捉えている。	【B】詩を書く学習をとおして、書写活動に意欲的に取り組んでいる。 【A】詩を書く学習をとおして、書写学習に課題意識をもって、意欲的に取り組んでいる。
		2・3	目次 第一～第三学年 中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解することができる。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写学習が日常のさまざまな書写活動に生きることを理解している。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】中学校三年間における書写の学習内容や目標を考え、自己の課題を捉えている。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を、把握しようとしている。 【A】中学校三年間における書写の学習内容や目標を、自らすすんで知ろうとしている。
		4・5	目的に合わせて書こう 目的に合わせて、文字を書くことへの興味や関心を深めることができる。 中学書写の学習内容が、他教科や日常生活へ広がることを理解できる。	【B】目的に合わせて書くことを理解している。 【A】目的に合わせて書くことを理解し、他教科や日常生活へ広がることを把握している。	【B】目的に合わせて書くことを知り、その効果について考えている。 【A】目的に合わせて書くことを知り、その身近な文字の効果捉えている。	【B】目的に合わせて書くことに関心をもち、書写学習への意欲を高めようとしている。 【A】目的に合わせて書き、書写の学習の成果を、他教科や日常生活へ広げていこうとしている。
		6・7	姿勢と用具の使い方 小学校で学習した姿勢・執筆、用具の使い方について確認することができる。	【B】姿勢・執筆、用具の扱いなどを理解している。 【A】姿勢・執筆、用具の扱いなどを的確に捉えている。	【B】姿勢・執筆、用具の扱いなどを確認している。 【A】姿勢・執筆、用具の扱いなどを確かめ、把握しようとしている。	【B】姿勢・執筆、用具の扱いなどを正しく把握しようとしている。 【A】姿勢・執筆、用具の扱いなどを自らすすんで知ろうとしている。
		8・9	学習の進め方 学習の進め方を理解することができる。	【B】書写の学習の進め方を理解している。 【A】書写の学習の進め方を的確に捉えている。	【B】書写の学習の進め方を確認している。 【A】書写の学習の進め方を考え、自己の課題を捉えている。	【B】書写の学習の進め方を理解しようとしている。 【A】書写の学習の進め方を、自らすすんで知ろうとしている。
		10	書写をとおして学んでいくこと 中学校三年間における書写の学習内容や目標、各学習内容の関係性を理解することができる。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写の各学習内容の関係性を理解している。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】書写の各学習内容の関係性を捉えている。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を把握しようとしている。 【A】書写の各学習内容の関係性を理解しようとしている。
		11	扉 第一学年 第一学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	【B】第一学年における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写学習が日常のさまざまな書写活動に生きることを理解している。	【B】第一学年における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】第一学年における書写の学習内容や目標を考え、自己の課題を捉えている。	【B】第一学年における書写の学習内容や目標を把握しようとしている。 【A】第一学年における書写の学習内容や目標を、自らすすんで知ろうとしている。
		12・13	学習内容を効果的にノートに書こう ノートの基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	【B】ノートの書き方を理解している。 ノートの書き方を理解して書いている。 【A】ノートの書き方を理解し、調和よく書くための方法を把握している。 ノートの書き方を理解し、字形を整えて書いている。	【B】ノートの書き方を考えている。 【A】ノートの書き方を考え、調和よく書くための自己の課題を見つけて、解決方法を考えている。	【B】ノートの書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題を把握し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
4		14～23	単元目標 日常生活で最も多く使われている楷書を、字形を整えて書くことができる。	【B】単元目標を理解している。 【A】単元目標を的確に捉えている。	【B】単元目標を確認している。 【A】単元目標を確かめ、把握しようとしている。	【B】単元目標を、把握しようとしている。 【A】単元目標を、自らすすんで知ろうとしている。
一	楷書で書こう	14・15	1 筆使い—基本点画— ・基本点画の種類 小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。	【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。	【B】楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 【A】基本点画の筆使いや組み立て方が、漢字のどの部分にあてはまるか判断している。	【B】基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。 【A】基本点画を把握し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
		16～19	2 筆使いと字形「天地」 小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いと字形を理解して書くことができる。	【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 基本点画の筆使いや文字の組み立て方を理解して書いている。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。 基本点画の筆使いや文字の組み立て方を理解して、字形を整えて書いている。	【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方を確認している。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方が、漢字のどの部分にあてはまるか判断している。	【B】基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。 【A】基本点画を把握し、課題の解決に向け意欲的に取り組んでいる。

評価規準(案)

【第一学年】

(評価規準:【A】十分満足できる,【B】おおむね満足できる)

		20・21	3 学習を生かして書く—字形、筆順— 字形の整え方と筆順の原則を理解して書くことができる。 毛筆で学習したことを、硬筆に生かすことができる。	【B】字形の整え方、筆順の原則を理解している。 字形の整え方、筆順の原則を理解して、正しい筆順で書いている。 【A】字形の整え方、筆順の原則を理解し、他の文字の筆順も的確に捉えている。 毛筆で学習したことを硬筆にも生かして書いている。	【B】字形の整え方、筆順の原則の重要性を確認している。 【A】字形の整え方、筆順の原則の重要性を確認し、把握している。	【B】字形の整え方、筆順の原則を知ろうとしている。 【A】字形の整え方、筆順の重要性を考えて、意欲的に取り組んでいる。
		22・23	(コラム)筆、墨、硯、紙について知ろう【適時】 書写で用いられる用具に興味をもち、材料や産地などのテーマに沿って、調べることができる。	【B】筆、墨、硯、紙の製造過程を知り、その特性について理解している。 【A】筆、墨、硯、紙の製造過程を知り、その特性についての確に捉えている。	【B】筆、墨、硯、紙についてわかったことなどを話し合い、まとめている。 【A】筆、墨、硯、紙についてテーマをもって調べ、積極的に考えて書いている。	【B】書写で使用されている用具・用材の製造過程に興味・関心をもっている。 【A】書写で使用されている用具・用材に関心をもち、それらを大切にしている心情や態度をとっている。
4		24～39	単元目標 平仮名の筆使いや字源を理解し、楷書に調和する仮名の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。楷書と仮名の調和を考えて書くことができる。	【B】単元目標を理解している。 【A】単元目標を的確に捉えている。	【B】単元目標を確認している。 【A】単元目標を確かめ、把握しようとしている。	【B】単元目標を書こうとしている。 【A】単元目標を意欲的に書こうとしている。
	二 楷書と仮名を調和させて書こう	24・25	1 筆脈「いろは歌」 平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書くことができる。	【B】平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解している。 平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書いている。 【A】平仮名の筆使いや筆脈、配列を的確に捉えている。平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して、字形を整えて書いている。	【B】紙面全体の調和、筆使いや筆脈、配列を考えている。 【A】紙面全体の調和を考えて、筆使いや筆脈、配列を的確に捉えている。	【B】平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。 【A】平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
		26・27	2 楷書に調和する仮名「いろは歌」 楷書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	【B】楷書に調和する仮名の筆使い、字形を理解している。楷書に調和する仮名の書き方を習得して書いている。 【A】楷書に調和する仮名の筆使いを理解し、字形を整えて書くことを把握している。 楷書に調和する仮名の書き方を習得して、字形を整えて書いている。	【B】楷書に調和する仮名の筆使い、字形について考えている。 【A】楷書に調和する仮名の筆使い、字形の特徴について、適切に判断している。	【B】楷書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 【A】自己の課題を設定し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
		28・29	3 学習を生かして書く—行の中心—『竹取物語』 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書くことができる。	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解している。 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書いている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解し、調和よく書くことを把握している。 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して、字形を整えて書いている。	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心を考えている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心について、適切に捉えている。	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとしている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて、意欲的に書こうとしている。
		30～33	4 学習を生かして書く—配列— ・校庭の植物の観察をレポートにまとめる ・手紙を書く さまざまな形式の基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して、さまざまな形式に合わせて書くことができる。	【B】さまざまな形式の書き方を理解している。 さまざまな形式の書き方を理解して書いている。 【A】さまざまな形式の書き方を理解し、調和よく書くための方法を把握している。 さまざまな形式の書き方を理解し、字形を整えて書いている。	【B】さまざまな形式の書き方を考えている。 【A】さまざまな形式の書き方を考え、調和よく書くための自己の課題を見つけて、解決方法を考えている。	【B】さまざまな形式の書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
		34・35	(コラム)季節の行事と書写【適時】 書写の学習を学校生活のどのような場面で生かすことができるか、話し合うことができる。	【B】書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、話し合うことを理解している。 書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、話し合うことができる。 【A】書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、話し合うことをよく理解している。 書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、よく話し合うことができる。	【B】書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、話し合うことについて考えている。 【A】書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、話し合うことについての確に判断している。	【B】書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、話し合おうとしている。 【A】書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、意欲的に話し合おうとしている。
		36・37	5 学校生活に生かして書く ・お薦めの本の帯やポップを作る ・ポスターを書く(ポスターセッション用) 伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を工夫して書くことができる。	【B】伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を理解している。 さまざまな書式に従って、配列や用具を理解して書いている。 【A】伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を把握し、調和よく書くことを理解している。 さまざまな書式に従って、配列や用具を理解して、字形を整えて書いている。	【B】伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を考えている。 【A】さまざまな用紙の形や書式を考えて、配列や用具を適切に捉えている。	【B】他教科や日常生活の中の書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】日常生活の中で書かれる身近な書式について、形式を整えて書こうとしている。

評価規準(案)

【第一学年】

(評価規準:【A】十分満足できる,【B】おおむね満足できる)

		38・39	(コラム)文字の変遷【適時】 文字の変遷について理解し、身のまわりの文字の書体に関心をもつことができる。	【B】文字の変遷について理解している。 【A】文字の変遷について理解し、書写学習の参考にしている。	【B】文字の変遷について考えている。 【A】文字の変遷について理解したことを、活用できる形で記録している。	【B】文字の変遷について理解し、身のまわりの文字の書体に関心をもって取り組んでいる。 【A】文字の変遷について理解し、身のまわりの文字の書体に興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。
9		40～54	単元目標 行書の特徴について、楷書と比較して理解することができる。 点画の変化や連続、省略を理解して書くことができる。 行書の学習の成果を日常生活に生かすことができ	【B】単元目標を理解している。 【A】単元目標を的確に捉えている。	【B】単元目標を確認している。 【A】単元目標を確かめ、把握しようとしている。	【B】単元目標を把握しようとしている。 【A】単元目標を自らすすんで知ろうとしている。
	三 行書で書いてみよう	40・41	1 行書学習のはじめに のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を理解できる。	【B】のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を理解している。 【A】のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体をよく理解している。	【B】のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を考えることができる。 【A】のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を的確に捉えている。	【B】のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を知ろうとしている。 【A】のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を意欲的に知ろうとしている。
42・43		2 楷書と行書の違い「和」 楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解できる。	【B】楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴を理解している。 【A】楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴をよく理解している。	【B】楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴に気づいている。 【A】楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴を的確に捉えている。	【B】楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴を知ろうとしている。 【A】楷書と行書の特徴の違いを理解し、行書の特徴について知ろうとしている。	
44・45		3 行書の筆使い「大」 行書の筆使いを理解して書くことができる。	【B】行書の特徴を知り、行書の筆使いについて理解している。 行書の筆使いを確かめて書いている。 【A】行書の特徴を知り、行書の筆使いについてよく理解している。行書の筆使いを理解して書いている。	【B】行書の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】行書の筆使いについて、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】行書の特徴や筆使いなどを知ろうとしている。 【A】行書の特徴や筆使いについて意欲的に知ろうとしている。	
46・47		4 点画の連続と変化1「大木」 点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	【B】点画の連続と形の変化の筆使いを理解している。 点画の連続と形の変化の筆使いを理解して書いている。 【A】点画の連続と形の変化の筆使いを的確に捉えている。点画の連続と形の変化の筆使いを理解して、字形を整えて書いている。	【B】点画の連続と形の変化を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の連続と形の変化から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の連続と形の変化について、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	
48・49		5 点画の連続と変化2「栄光」 点画の連続と変化を理解して書くことができる。	【B】点や横画からの連続の筆使いを理解している。 点や横画からの連続の筆使いを理解して書いている。 【A】点や横画からの連続の筆使いを的確に捉えている。点や横画からの連続の筆使いを理解して、字形を整えて書いている。	【B】点や横画からの連続の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点や横画からの連続の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点や横画からの連続の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	
50・51		6 点画の連続と省略「平和」 点画の連続と省略を理解して書くことができる。	【B】点画の連続と省略を理解している。 点画の連続と省略を理解して書いている。 【A】点画の連続と省略を的確に捉えている。点画の連続と省略を理解して、字形を整えて書いている。	【B】点画の連続と省略の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の連続と省略の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の連続と省略の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	
52・53		7 学習を生かして書くー行書の特徴ー これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。	【B】これまでに学習してきた行書の特徴を理解している。これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書いている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴を把握し、硬筆で字形を整えて書くことを理解している。これまでに学習してきた行書の特徴を理解し、硬筆で字形を整えて書いている。	【B】これまでに学習してきた行書の特徴から、自己の課題を考えている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】これまでに学習してきた行書の特徴を硬筆で確かめている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴を確かめて、硬筆で意欲的に取り組んでいる。	
54		(コラム)暮らしの文字を支える人々【適時】 さまざまな活字が活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解し、職業観を意識することができる。	【B】さまざまな活字が、活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解している。 【A】手書きでデザインされた活字が、印象や用途によってさまざまに活用されていることを理解している。	【B】さまざまな活字が、活字デザイナーの手書きをもとに作られていることについて考えている。 【A】手書きでデザインされた活字が、印象や用途によってさまざまに活用されていることについて考えている。	【B】さまざまな活字が、活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを知ろうとしている。 【A】手書きでデザインされた活字が、印象や用途によってさまざまに活用されていることを知ろうとしている。	

評価規準(案)

【第一学年】

(評価規準:【A】十分満足できる,【B】おおむね満足できる)

3		129～132	<p>書き初めを書く 「新たな決意」※(「世界遺産」) 文字の大きさや字間, 行の中心などを理解して, 配列よく書くことができる。 ※(行書の特徴や配列を理解して書くことができる。)</p>	<p>【B】楷書と仮名の筆使いや字形, 文字の大きさなどを理解している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 ※(行書の特徴や配列について理解している。行書の特徴や行の中心を理解して書いている。) 【A】筆使いや字形, 文字の大きさなどを理解して, 調和よく書くことを把握している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して, 配列を整えて書いている。 ※(行書の特徴や配列についてよく理解している。行書の特徴や行の中心を理解して, 字形を整えて配列よく書いている。)</p>	<p>【B】紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を考えている。 ※(行書の特徴や配列について考えている。) 【A】紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を的確に捉えている。 ※(行書の特徴や配列について理解し, 調和のさせ方を的確に捉えている。)</p>	<p>【B】自己の課題をもって取り組んでいる。 ※(自己の課題をもって取り組んでいる。) 【A】自己の課題解決に向けて, 積極的に取り組んでいる。 ※(自己の課題解決に向けて, 意欲的に取り組んでいる。)</p>
---	--	---------	---	---	--	--

評価規準(案)

【第二学年】

(評価規準:【A】十分満足できる,【B】おおむね満足できる)

時間	単元名	ページ	教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			学習目標			
適時		55	扉 第二学年 第二学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	【B】第二学年における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写学習が日常のさまざまな書写活動に生きることを理解している。	【B】第二学年における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】第二学年における書写の学習内容や目標を考え、自己の課題を捉えている。	【B】第二学年における書写の学習内容や目標を、把握しようとしている。 【A】第二学年における書写の学習内容や目標を、自らすすんで知ろうとしている。
		56・57	(コラム)あの人が残した文字【適時】 日本の歴史上の人物が書いてきた文字について関心をもち、書かれた字形や身のまわりの文字について話し合い、文字について興味を深めることができる。	【B】日本の歴史上の人物が書いてきた文字の書体や種類などを理解している。 【A】日本の歴史上の人物が書いてきた文字の書体や種類などをよく理解している。	【B】日本の歴史上の人物が書いてきた文字を探して、文字について考えている。 【A】日本の歴史上の人物が書いてきた文字を探して、書体や種類の違いなどを的確に判断している。	【B】日本の歴史上の人物が書いてきた文字に興味・関心をもっている。 【A】日本の歴史上の人物が書いてきた文字に関心をもち、意欲的に探したり、調べたりしている。
6		58～63	単元目標 行書の点画の特徴について理解を深め、筆使いに気をつけて書くことができる。 行書で学習した成果を、日常生活に生かしていくことができる。	【B】単元目標を理解している。 【A】単元目標を的確に捉えている。	【B】単元目標を確認している。 【A】単元目標を確かめ、把握しようとしている。	【B】単元目標を把握しようとしている。 【A】単元目標を自らすすんで知ろうとしている。
一 行書で書こう		58・59	1 点画の省略「初志」 点画の省略を理解して書くことができる。	【B】点画の省略を理解している。 点画の省略を理解して書いている。 【A】点画の省略を理解し、字形を整えて書くことを把握している。 点画の変化を理解して、字形を整えて書いている。	【B】点画の省略の書き方を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】行書の筆使いの中から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の省略の書き方について、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】点画の省略の書き方から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
		60・61	2 筆順の変化「深緑」 筆順の変化を理解して書くことができる。	【B】筆順の変化を理解している。 筆順の変化を理解して書いている。 【A】筆順の変化を理解し、字形を整えて書くことを把握している。 筆順の変化を理解して、字形を整えて書いている。	【B】筆順の変化の書き方を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】行書の筆使いの中から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】筆順の変化の書き方について、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】筆順の変化の書き方から、自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
		62・63	3 学習を生かして書く—行書の特徴— これまでに学習してきた行書の特徴を理解して書くことができる。	【B】これまでに学習した行書の特徴について理解している。これまでに学習した行書の特徴について、自己の課題を理解して書いている。 【A】行書の特徴を知り、点画の変化、連続、省略、筆順の変化を理解し、字形を整えて書くことを把握している。 行書の特徴を知り、点画の変化、連続、省略、筆順の変化を理解して、字形を整えて書いている。	【B】これまでに学習した行書の特徴から、自己の課題を考えている。 【A】行書学習のまとめとして自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】これまでに学習した行書の書き方に習熟し、配列よく書こうとしている。 【A】行書学習のまとめとして、行書の特徴の中から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
7		64～77	単元目標 行書と仮名を調和させて書くことができる。 学習したことを、日常生活のさまざまな書式に生かしていくことができる。	【B】単元目標を理解している。 【A】単元目標を的確に捉えている。	【B】単元目標を確認している。 【A】単元目標を確かめ、把握しようとしている。	【B】単元目標を把握しようとしている。 【A】単元目標を自らすすんで知ろうとしている。
二 行書と仮名を調和させて書いてみよう		64・65	1 行書と仮名の調和「喜びの声」 点画の連続と配列を理解して書くことができる。	【B】行書と仮名の調和を理解している。 行書と仮名の調和について確かめながら書いている。 【A】行書と仮名の調和や配列の整え方を理解している。行書と仮名の調和を理解し、行書の筆使いを生かして書いている。	【B】紙面全体の調和を考えて、点画の連続と配列を考えている。 【A】紙面全体の調和を考えて、点画の連続と配列を意識している。	【B】行書と仮名の調和について、自己の課題を見つけようとしている。 【A】行書と仮名の調和における課題解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
		66・67	2 行書に調和する仮名「いろは歌」 行書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	【B】行書に調和する仮名の筆使い、字形を理解している。行書に調和する仮名の筆使い、字形を習得しようとしている。 【A】行書に調和する仮名の筆使いを理解し、字形を整えて書くことを把握している。 行書に調和する仮名の書き方を習得して、字形を整えて書いている。	【B】行書に調和する仮名の筆使い、字形について考えている。 【A】行書に調和する仮名の筆使い、字形の特徴について、適切に判断している。	【B】行書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 【A】自己の課題を設定し、その解決に向けて取り組んでいる。
		68～70	3 文字の大きさと配列 文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	【B】紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を理解している。 紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を理解して書いている。 【A】紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列に注意し、調和よく書くことを理解している。 紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を理解し、字形を整えて書いている。	【B】紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を考えている。 【A】紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列を意識している。	【B】紙面全体の調和を考えて、文字の大きさや配列について、自己の課題を見つけようとしている。 【A】紙面全体の調和を考えて、行書と仮名の調和の書き方における自己の課題を設定し、その解決に向けて取り組んでいる。

評価規準(案)

【第二学年】

(評価規準:【A】十分満足できる,【B】おおむね満足できる)

		71	(コラム)短冊と色紙(発展)【適時】 短冊と色紙について関心をもつことができる。	【B】短冊と色紙について理解している。 【A】短冊と色紙についてよく理解している。	【B】短冊と色紙について考えている。 【A】短冊と色紙について適切に捉えている。	【B】短冊と色紙について関心をもっている。 【A】短冊と色紙について関心もち、すすんで調べようとしている。
		72・73	4 書く速さを意識して書く一行書と仮名の調和-『走れメロス』 行書と行書に調和する仮名の書き方を理解して、速く書くことを意識することができる。	【B】行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、速く書くことを理解している。 行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、速く書いている。 【A】行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、速く書くことを理解し、調和よく書くことを把握している。行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、字形を整えて速く書いている。	【B】行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し、速く書くことを考えている。 【A】紙面全体の調和を考えて、文字の大きさ、行の中心、余白の取り方などを意識している。	【B】行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得しようとし、速く書くことを意識している。 【A】行書と行書に調和する仮名の筆使いにおける自己の課題を設定し、解決を図ろうとしている。
		74~77	5 学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列-『枕草子』『平家物語』 行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	【B】行書と仮名の調和や配列を理解している。行書と仮名の調和や配列を理解して書いている。 【A】行書と仮名の調和や配列を理解し、調和よく書くことを把握している。行書と仮名の調和と配列を理解して、字形を整えて書いている。	【B】行書と仮名の調和や配列を考えている。 【A】行書と仮名の調和や配列を考え、適切に捉えている。	【B】国語の古典での書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】国語の古典における文章について、形式を整えて書こうとしている。
4		78~86	単元目標 学習活動や日常生活を想定し、漢字と仮名の調和、文字の大きさや字間・行間、書式に気をつけて適切に書くことができる。	【B】単元目標について理解している。 【A】単元目標についてよく理解している。	【B】単元目標について考えている。 【A】単元目標について考え適切に捉えている。	【B】単元目標について興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】単元目標について関心もち、すすんで調べようとしている。
	三 学習活動や日常生活に生かして書く	78・79	1 さまざまな書く場面 目的や必要に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか、話し合うことができる。	【B】目的や必要に応じて楷書や行書を選ぶことや、配列の整え方について理解している。 【A】目的や必要に応じて楷書や行書を選ぶことや、配列の整え方について、よく理解している。	【B】目的や必要に応じた形式や用具について考えている。 【A】目的や必要に応じた形式や用具について、日常生活との関連を話し合うことができる。	【B】目的や必要に応じた書き方について、自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】目的や必要に応じた書き方について、自己の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。
		80・81	(コラム)日本建築と「書」(発展)【適時】 日本の伝統的な建築とそこに日常として使われていた「書」について理解することができる。	【B】日本の伝統的な建築とそこに使われていた「書」について理解している。 【A】日本の伝統的な建築とそこに使われていた「書」についてよく理解している。	【B】日本の伝統的な建築とそこに使われていた「書」について考えている。 【A】日本の伝統的な建築とそこに使われていた「書」について適切に捉えている。	【B】日本の伝統的な建築とそこに使われていた「書」について関心をもっている。 【A】日本の伝統的な建築とそこに使われていた「書」について関心もち、すすんで調べようとしている。
		82~85	2 学習を生かして書く ・新聞を書く ・掲示物(ポスター)に案内を書く ・案内状を書く 文字の大きさや配列を理解して、読みやすく書くことができる。 目的や必要に応じて、効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。	【B】さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解している。 さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解して書いている。 【A】さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列、字形を整えて読みやすく書くことを把握している。さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解して、字形を整えて読みやすく書いている。	【B】さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について考えている。 【A】目的に応じたさまざまな形式や用具を考え、日常生活との関連を意識している。	【B】さまざまな形式に合わせた配列を考え、漢字と仮名の調和に習熟しようとしている。 【A】目的に応じたさまざまな書式を考え、読みやすく書こうとしている。
		86	(コラム)書の古典の鑑賞(発展)【適時】 さまざまな楷書の古典について、関心をもつことができる。	【B】さまざまな楷書の古典について理解している。 【A】さまざまな楷書の古典についてよく理解している。	【B】さまざまな楷書の古典について考えている。 【A】さまざまな楷書の古典について適切に捉えている。	【B】さまざまな楷書の古典について関心をもっている。 【A】さまざまな楷書の古典について関心もち、すすんで調べようとしている。
3		133~136	書き初めを書く「生命の尊重」「伝統の継承」 行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	【B】行書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。 行書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 【A】筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。行書と仮名の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。	【B】紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を考えている。 【A】紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を的確に捉えている。	【B】自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。

評価規準(案)

【第三学年】

(評価規準:【A】十分満足できる,【B】おおむね満足できる)

時間	単元名	ページ	教材名 学習目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
適時		87	扉 第三学年 第三学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	【B】第三学年における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写学習が日常のさまざまな書写活動に生きることを理解している。	【B】第三学年における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】第三学年における書写の学習内容や目標を考え、自己の課題を捉えている。	【B】第三学年における書写の学習内容や目標を把握しようとしている。 【A】第三学年における書写の学習内容や目標を、自らすすんで知ろうとしている。
2		88・89	単元目標 行書の特徴について理解を深め、筆使いに気をつけて書くことができる。 行書で学習したことを、日常生活に生かしていくことができる。	【B】単元目標を理解している。 【A】単元目標を的確に捉えている。	【B】単元目標を確認している。 【A】単元目標を確かめ、把握しようとしている。	【B】単元目標を把握しようとしている。 【A】単元目標を自らすすんで知ろうとしている。
	一 行書を深めよう	88・89	1 点画の変化と連続「創造」 点画の変化と連続を理解して書くことができる。 次の文字への筆脈を理解して書くことができる。	【B】点画の変化と連続、次の文字への筆脈を理解している。 点画の変化と連続、次の文字への筆脈を理解して書いている。 【A】点画の変化と連続、次の文字への筆脈を理解し、字形を整えて書くことを把握している。 点画の変化と連続、次の文字への筆脈を理解して、字形を整えて書いている。	【B】点画の変化と連続、次の文字への筆脈に関する筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の変化と連続、次の文字への筆脈の中から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の変化と連続、次の文字への筆脈について、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】点画の変化と連続、次の文字への筆脈の中から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
3		90～93	単元目標 行書と仮名を調和させて書くことができる。 行書で学習したことを、学習活動や日常生活に生かしていくことができる。	【B】単元目標を理解している。 【A】単元目標を的確に捉えている。	【B】単元目標を確認している。 【A】単元目標を確かめ、把握しようとしている。	【B】単元目標を把握しようとしている。 【A】単元目標を自らすすんで知ろうとしている。
	二 行書と仮名を調和させて書こう	90・91	1 行書と仮名の調和「美しい自然」 点画の連続を理解して書くことができる。 配列を理解して書くことができる。	【B】点画の連続や配列の書き方を理解している。 点画の連続や配列の書き方を理解して書いている。 【A】点画の連続や配列の書き方、字形を整えて速く書くことを理解している。 点画の連続や配列の書き方を理解して、字形を整えて速く書いている。	【B】点画の連続や配列の書き方を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の連続や配列の書き方を確かめ、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の連続や配列の書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】点画の連続や配列の書き方に興味・関心をもって、意欲的に取り組んでいる。
		92・93	2 学習を生かして書く—配列—『おくのほそ道』 行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	【B】行書と仮名を調和よく書く書き方を理解している。行書と仮名を調和よく書いている。 【A】行書と仮名を調和よく書く書き方をよく理解している。 行書と仮名を調和よく、字形を整えて書いている。	【B】行書と仮名を調和よく書く書き方を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】行書と仮名を調和よく書く書き方を確かめ、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】行書と仮名を調和よく書く書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】行書と仮名を調和よく書く書き方に興味・関心をもって、意欲的に取り組んでいる。
2		94～99	単元目標 これまでに身につけてきた書写力を生かして、「卒業」をテーマに、語句や文、表現形式を選んで卒業の記念制作に取り組むことができる。	【B】単元目標を理解している。 【A】単元目標を的確に捉えている。	【B】単元目標を確認している。 【A】単元目標を確かめ、把握しようとしている。	【B】単元目標を把握しようとしている。 【A】単元目標を自らすすんで知ろうとしている。
	三 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう	94～97	1 多様な表現による文字 身のまわりで見かける、文字のもつ表現効果について考えることができる。	【B】身のまわりで見かける、文字の表現効果について理解している。 【A】文字の表現効果を、生活に生かすことについて理解している。	【B】身のまわりで見かける、文字の表現効果について考えている。 【A】文字の表現効果を、生活に生かすことについて考えている。	【B】身のまわりで見かける、文字の表現効果に興味・関心をもっている。 【A】文字の表現効果を、生活に生かそうとしている。
		98・99	2 三年間の学習の成果を生かそう 三年間の学習を生かして効果的に書き、日常生活に生かすことができる。	【B】楷書や行書の筆使い、字形を理解している。 楷書や行書の筆使いや字形に気をつけて書いている。 【A】楷書や行書の筆使いや字形を理解して、筆記用具を選択し、配列を整えて書くことを把握している。 楷書や行書の筆使いや字形、筆記用具、用紙を的確に選択し、配列に気をつけて書いている。	【B】楷書や行書の筆使いや字形、筆記用具、用紙について考えている。 【A】楷書や行書の筆使いや字形、筆記用具、用紙を的確に選択している。	【B】三年間の学習を生かして、楷書や行書の筆使いなどの習得に自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
3		137～140	書き初めを書く「友好の精神」「真理の探究」 行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 中学校での書写学習のまとめとして、行書で書くことができる。	【B】行書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。 行書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 【A】筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。 行書と仮名の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。	【B】紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を考えている。 【A】紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を的確に捉えている。	【B】中学校での書写学習のまとめとして、自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】中学校での書写学習のまとめとして行書について理解を深め、自己の課題解決に向けて意欲的に取り組んでいる。

評価規準(案)

【第三学年】

(評価規準:【A】十分満足できる,【B】おおむね満足できる)

適時		②	芸術としての書道(発展) 書かれた文字の読みやすさとは異なる美しさが、平安時代に見いだされたことを理解することができる。	【B】能書が「料紙」に和歌を美しく書くことで後世に伝来したことを理解している。 【A】書かれた文字の読みやすさとは異なる美しさが平安時代に見いだされたことを理解している。	【B】能書が「料紙」に和歌を美しく書くことで後世に伝来したことについて考えている。 【A】書かれた文字の読みやすさとは異なる美しさが平安時代に見いだされたことについて考えている。	【B】能書が「料紙」に和歌を美しく書くことで後世に伝来したことを知ろうとしている。 【A】書かれた文字の読みやすさとは異なる美しさが平安時代に見いだされたことを知ろうとしている。
----	--	---	---	--	--	--